

ハチベエなら先生にたたかれて
いる。モーちゃんなら軍事訓練
で怒られて、ハカセなら戦争は
間違っているといつて特高に
らまれていろいろ。三人が元
気に駆け回れるのは、日本が平
和で民主的だから。変な国にな
ったときには三人組が元気に駆
け回れる世界がなくなっていま
う。今の子どもというより、若
いお父さんお母さんへ、ぜひと
も今の憲法だけは守ってほし
い」と、平和への切なる願いも
訴えました。

参加者約八〇人



那須正幹さん

「ズッコケ三人組」
作品朗読劇
7月29日(日)、8月19日(日)、
26日(日)

北九州子ども読書交流センタ
ー(代表 仲紀子)のみなさん、
ナレーター宮崎暁子さんによ
る「ズッコケ三人組」作品朗読
劇を開催しました。第一作「そ
れいけズッコケ三人組」から
「三人組登場」を取り上げ公演。
ハチベエ・ハカセ・モーちゃん
のゆかいなやり取りを上演し、
クイズや那須さんの著書を紹介
するブックトークも行われ、会
場が集まった子どもたちと作品
の世界を楽しみました。

参加者各回約五〇人



▲角野栄子さん講演会

「ちいさなどうわたちーみんな
いっしょにワクワクしよう」
8月17日(金)

「魔女の宅急便」で知られる
童話作家・角野栄子さんによる
講演会を開催しました。今年、
「角野栄子のちいさなどうわた
ち」と題した幼年童話集のシリ
ーズ六冊を刊行。自作の朗読を
交えながら、子どもが自分自身
で本を読むことを大事にしてほ
しいという思いを語られました。

北九州芸術劇場・小劇場
参加者約一七〇人



角野栄子さん

▲ボブ・サム&伊藤比呂美
ストーリーテリング

8月10日(金)

写真家で作家の星野道夫(一
九九六年取材先でヒグマに襲わ
れ急逝)が愛したアラスカの先
住民族に伝わる口承詩の世界を
紹介する催しを、熊本近代文学
館との連携により行いました。
アラスカ先住民族の語り部ボ
ブ・サムさんと詩人伊藤比呂美
さんの語りに、会場は、自然の
中で星野道夫も一緒に座って聞
いているような雰囲気に入れま
しました。

インタビュー誌「SWITCH」
の発行人で、星野道夫にインタ
ビューを重ねた新井敏記さんも
途中から加わり、予定時刻を過
ぎても話は尽きませんでした。

参加者九二人



ボブ・サムさん



伊藤比呂美さん

▲北九州の児童文芸誌
「小さい旗」
五十一年のあゆみ展

7月14日(土)〜9月2日(日)

北九州の児童文芸同人誌
「小さい旗」の創刊五〇年を記
念した展覧会を開催しまし
た。

「小さい旗」は、みずかみか
ずよら多くの児童文学作家を
生んだ全国でも有数の同人
誌。一九五五年の創刊から長
く北九州の児童文学を牽引
し、今年七月には通巻一二四
号を刊行しました。

本展では、同人による著書
や関係資料などを展示し、同
人のプロフィールと「小さい
旗」の歴史を年譜で紹介しま
した。



「小さい旗」主宰 水上平吉さん